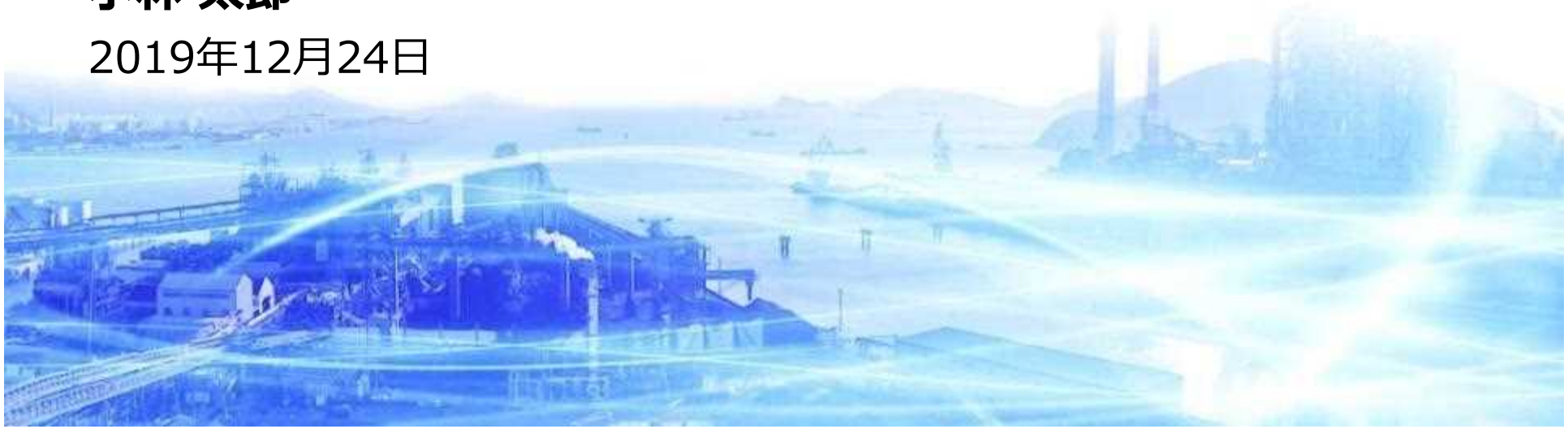
個人投資家様向け会社説明会

株式会社トクヤマ （証券コード：4043）

経営企画本部 広報・IRグループリーダー
小林 太郎

2019年12月24日



CONTENTS　― 説明内容 ―

1. 概要
2. 主要拠点
3. 株価及び出来高推移
4. 暮らしの中のトクヤマ
5. 身近にある製品
6. 沿革
7. 競争力の源泉
　～徳山製造所
8. セメント工場活用による
　循環型社会への貢献
9. 業績推移
10. 事業ポートフォリオ
11. 成長事業の取り組み
12. CO_2排出量削減の
　取り組み
13. 配当について

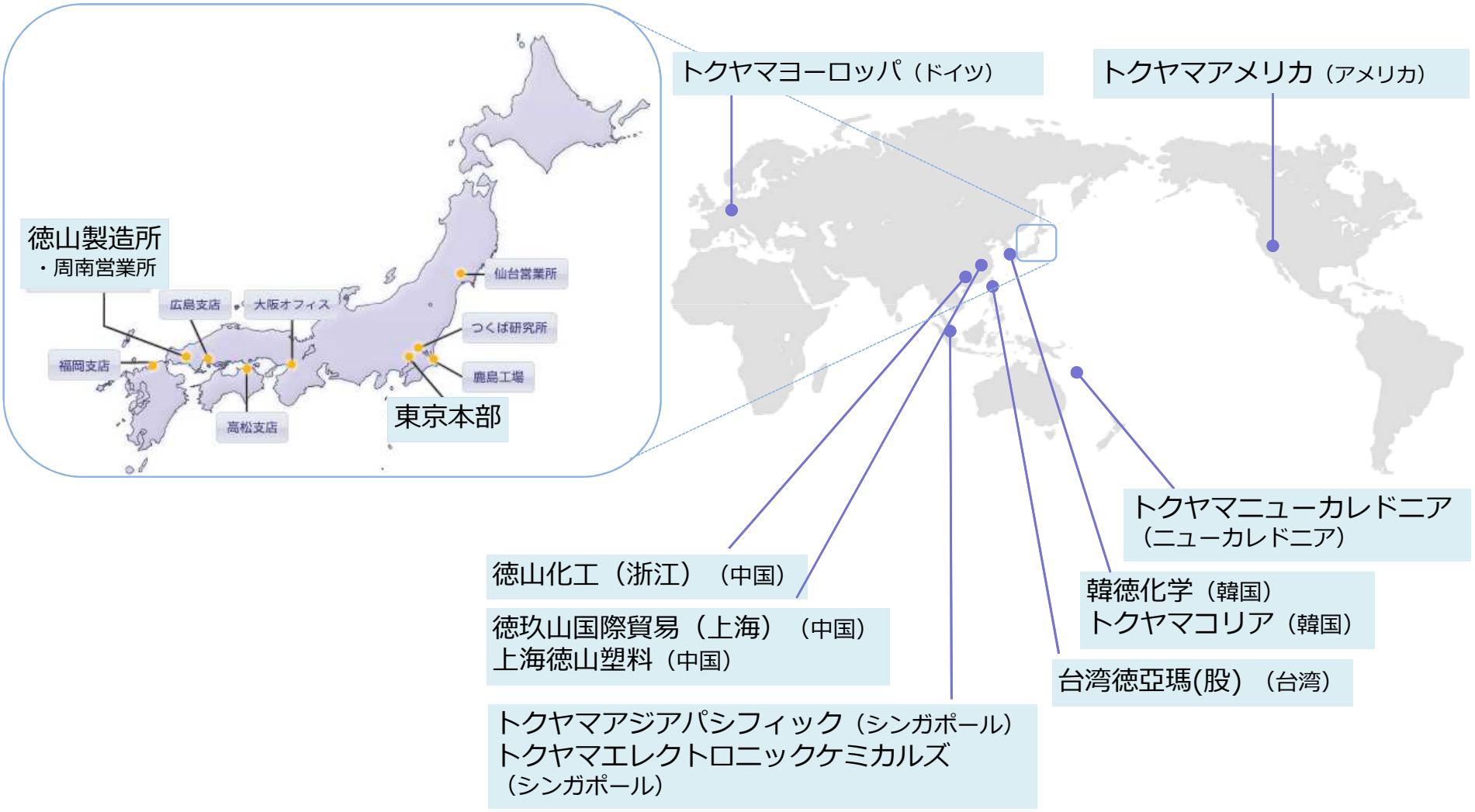
本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1. 概要

創立	1918年2月16日（旧社名：徳山曹達）
所在地	**東京本部** 東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原 **徳山製造所（本店所在地）** 山口県周南市御影町1-1
代表者	横田（よこた）　浩（ひろし）
資本金	100億円　（2019年3月末現在）
従業員数	5,471名 （2019年3月末現在、連結ベース）
連結売上高	3,246億円（2018年度）
証券コード	4043 （化学） （2012年9月より日経平均銘柄） （2019年9月よりJPX日経400銘柄）
株式売買単位	100株

▲横田社長。徳山製造所にて撮影

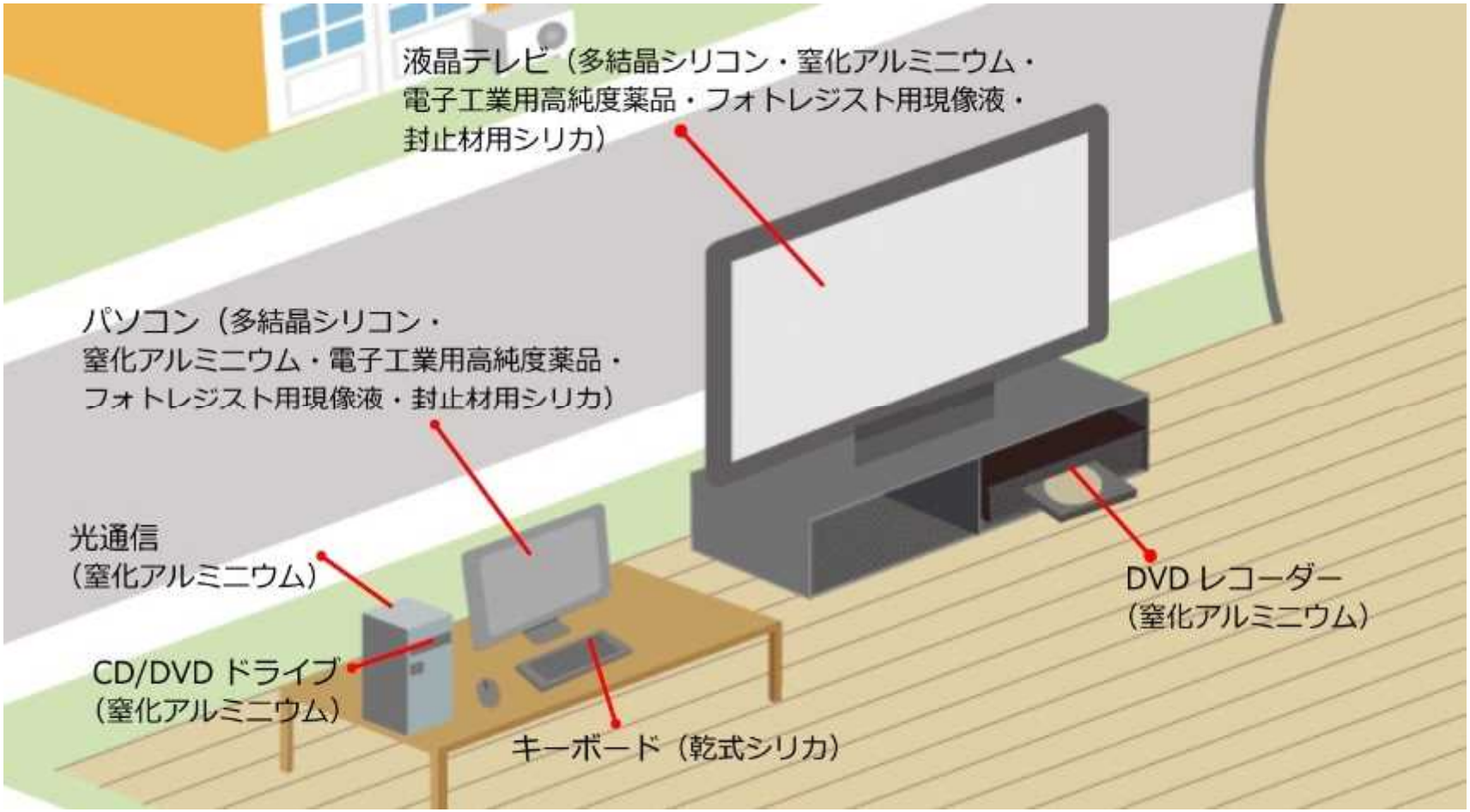
2. 主要拠点


徳山製造所
・周南営業所
広島支店
大阪オフィス
仙台営業所
つくば研究所
福岡支店
鹿島工場
高松支店
東京本部
トクヤマヨーロッパ（ドイツ）
トクヤマアメリカ（アメリカ）
トクヤマニューカレドニア
（ニューカレドニア）
徳山化工（浙江）（中国）
韓徳化学（韓国）
トクヤマコリア（韓国）
徳玖山国際貿易（上海）（中国）
上海徳山塑料（中国）
台湾徳亞瑪(股)（台湾）
トクヤマアジアパシフィック（シンガポール）
トクヤマエレクトロニックケミカルズ
（シンガポール）

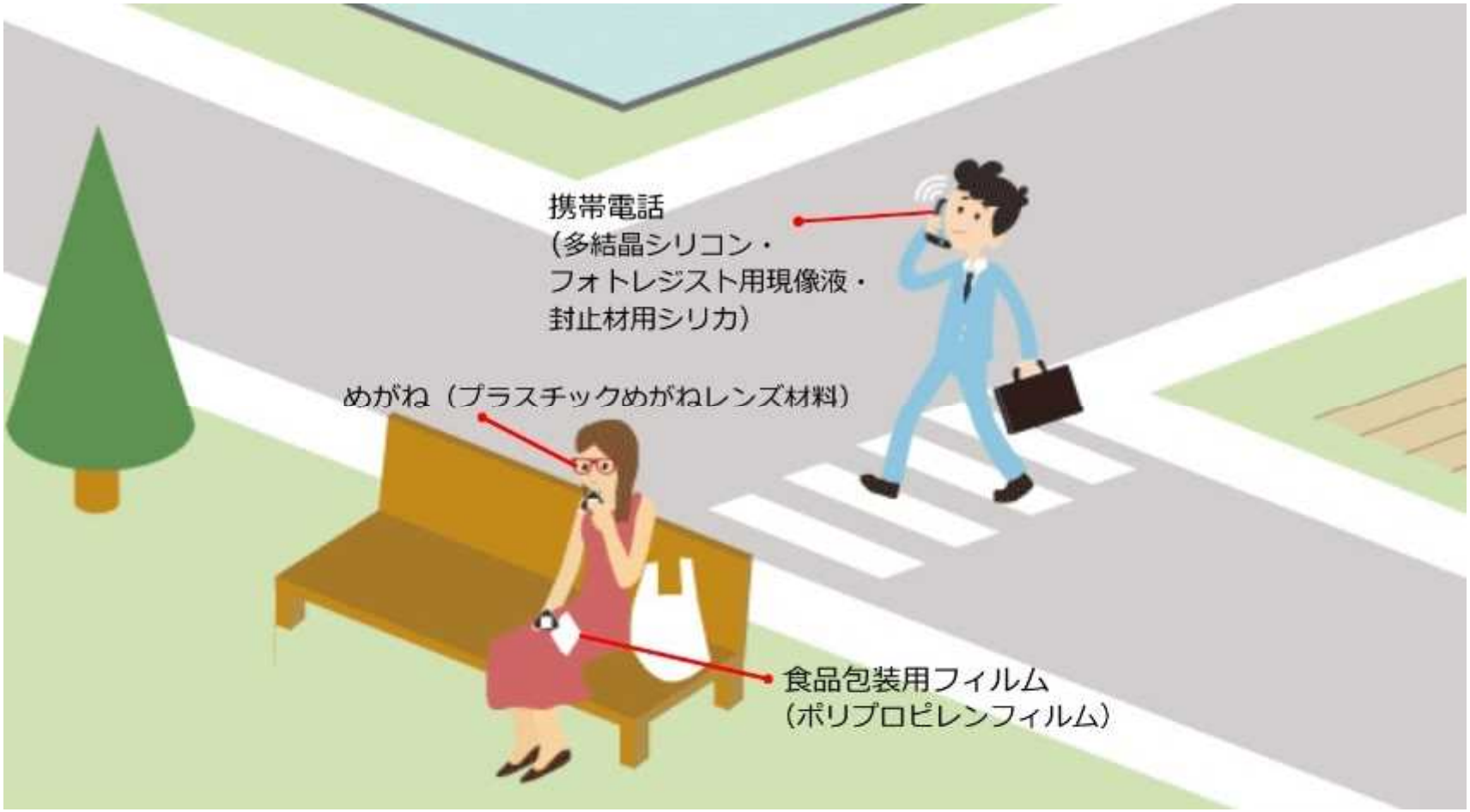
3. 株価及び出来高推移

株式併合 (5株を1株)
出来高（左軸）
株価（円）
出来高
（千株）
4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
40,000
20,000
0
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月
2017年
2018年
2019年

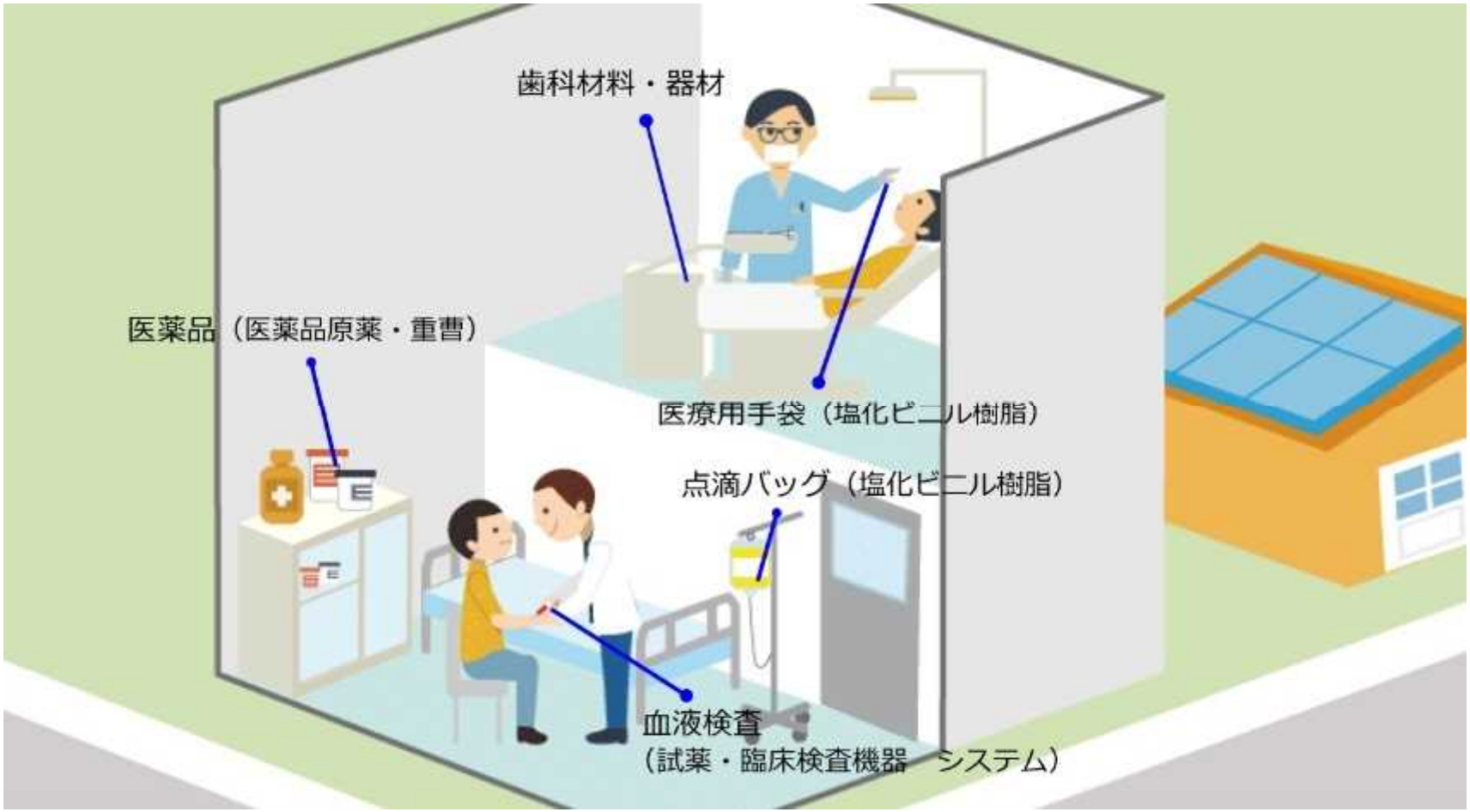
4. 暮らしの中のトクヤマ



4. 暮らしの中のトクヤマ



4. 暮らしの中のトクヤマ



5. 身近にある製品

コンビニエンスストアのサンドイッチ・おにぎり等の包装用フィルム
（サン･トックス㈱「サントックス-ＯＰ」）

紙おむつ用バックシート
（微多孔質フィルム「ポーラム®」）

歯科充填用コンポジットレジン
（㈱トクヤマデンタル「オムニクロマ」）

6. 沿革

創立者　岩井勝次郎

岩井商店（現 双日）が設立した代表的な会社（最勝会）
日鉄日新製鋼、ダイセル、富士フイルム、トクヤマ、
関西ペイント、日本橋梁、トーア紡

事業

スペシャリティー・加工型事業
(多結晶シリコン他)

石油化学　(塩化ビニル樹脂他)

ソーダ専業(ｿｰﾀﾞ灰)

無機総合化学　（セメント、苛性ソーダ他）

社名

ソーダ 日本曹達工業

ソーダ 徳山曹達

トクヤマ

年

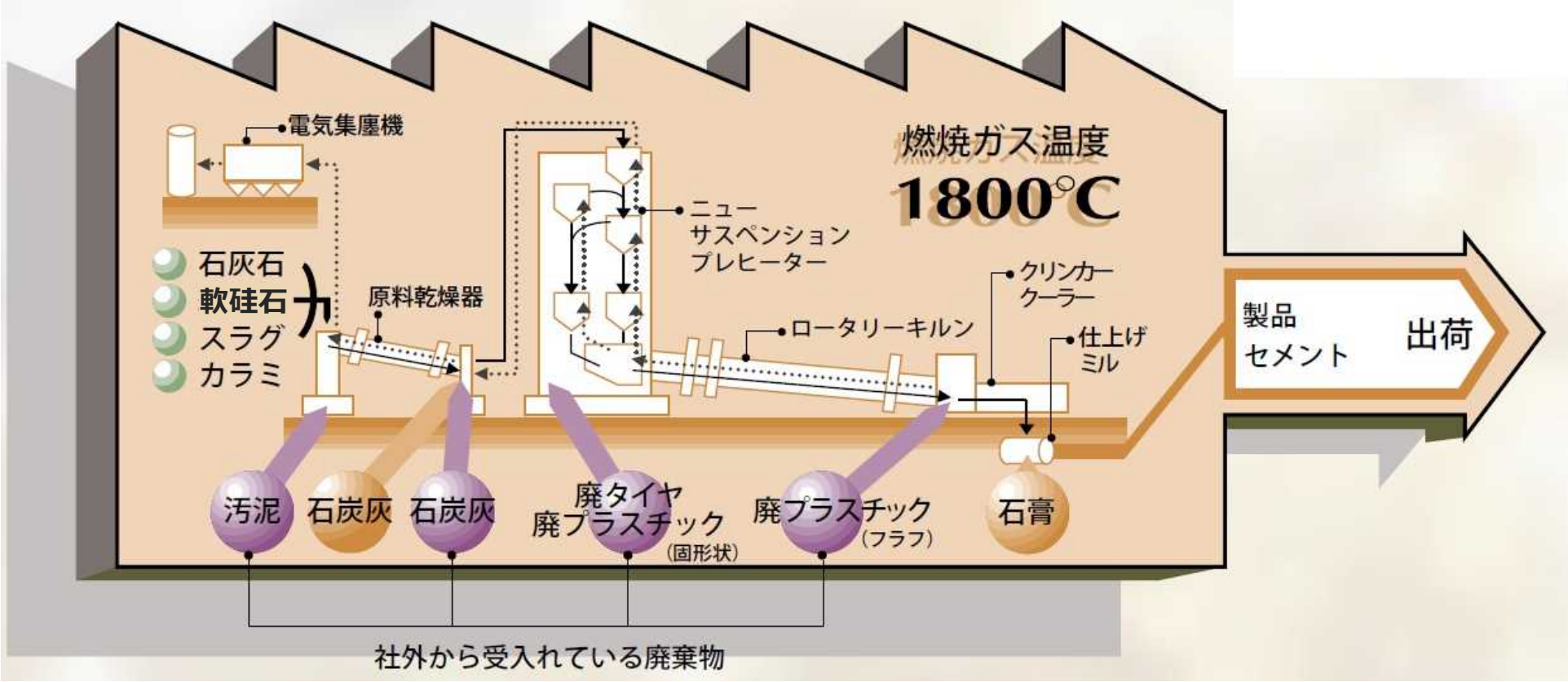
1918 1920 1930 1936 1940 1950 1960 1970 1980 1990 1994 2000 2010 2019

7. 競争力の源泉～徳山製造所

無機・有機化学、セメント、電子材料などの工場が複合的に集積し、原料・製品・副産物・廃棄物を相互に有効活用できるインテグレーションを形成

8. セメント工場活用による循環型社会への貢献

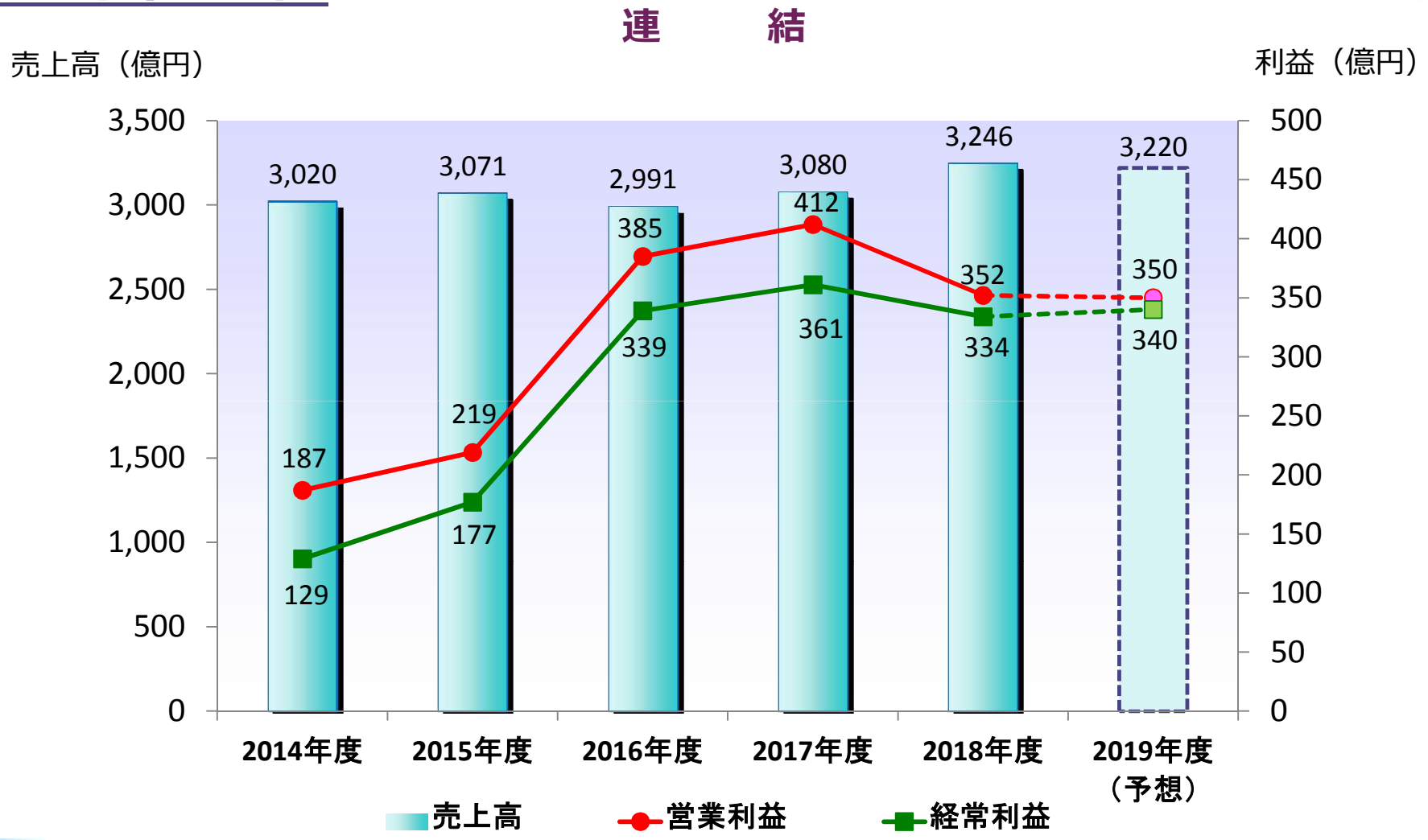
セメント製造の工程で廃棄物を原料の一部として受け入れて利用することにより、
循環型社会の実現に貢献しています。



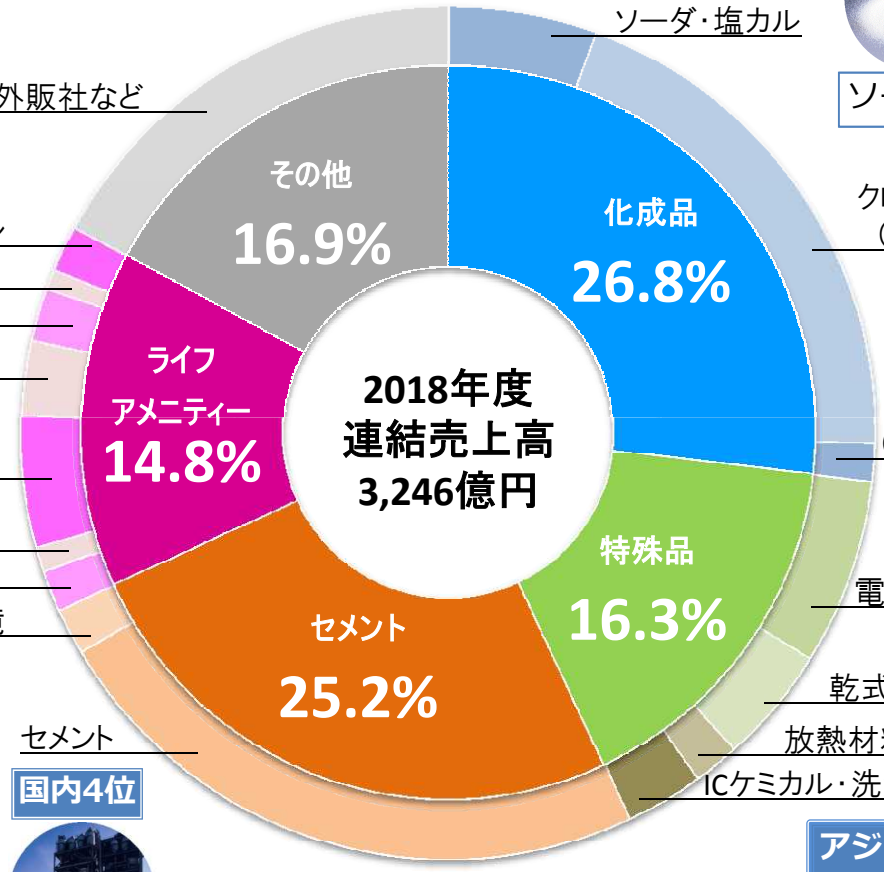
廃棄物・副産物　187万トン

（社内：28.6万トン／社外：158.6万トン）　※2018年度数値

9. 業績推移


連　　結
売上高（億円）
利益（億円）
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0
3,020
3,071
2,991
3,080
3,246
3,220
187
219
385
412
352
350
129
177
339
361
334
340
2014年度
2015年度
2016年度
2017年度
2018年度
2019年度
（予想）
売上高
営業利益
経常利益

10. 事業ポートフォリオ



ソーダ・塩カル

国内製造only1

ソーダ灰

クロルアルカリ・塩ビ
（苛性ソーダなど）

国内3位

苛性ソーダ

NOC
（ニューオーガニックケミカルズ）

世界シェア30%

電子材料（多結晶シリコン）

乾式シリカ

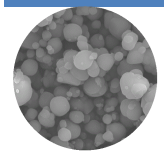
放熱材料（窒化アルミニウム）

ICケミカル・洗浄システム

アジアNo.1

電子工業用高純度IPA
乾式シリカ

世界No.1



窒化アルミ粉末

海外販社など

樹脂サッシ

イオン交換膜

歯科器材

医療診断システム

ポリオレフィンフィルム

NF（微多孔質フィルム）

ファインケミカル

資源環境

世界No.2

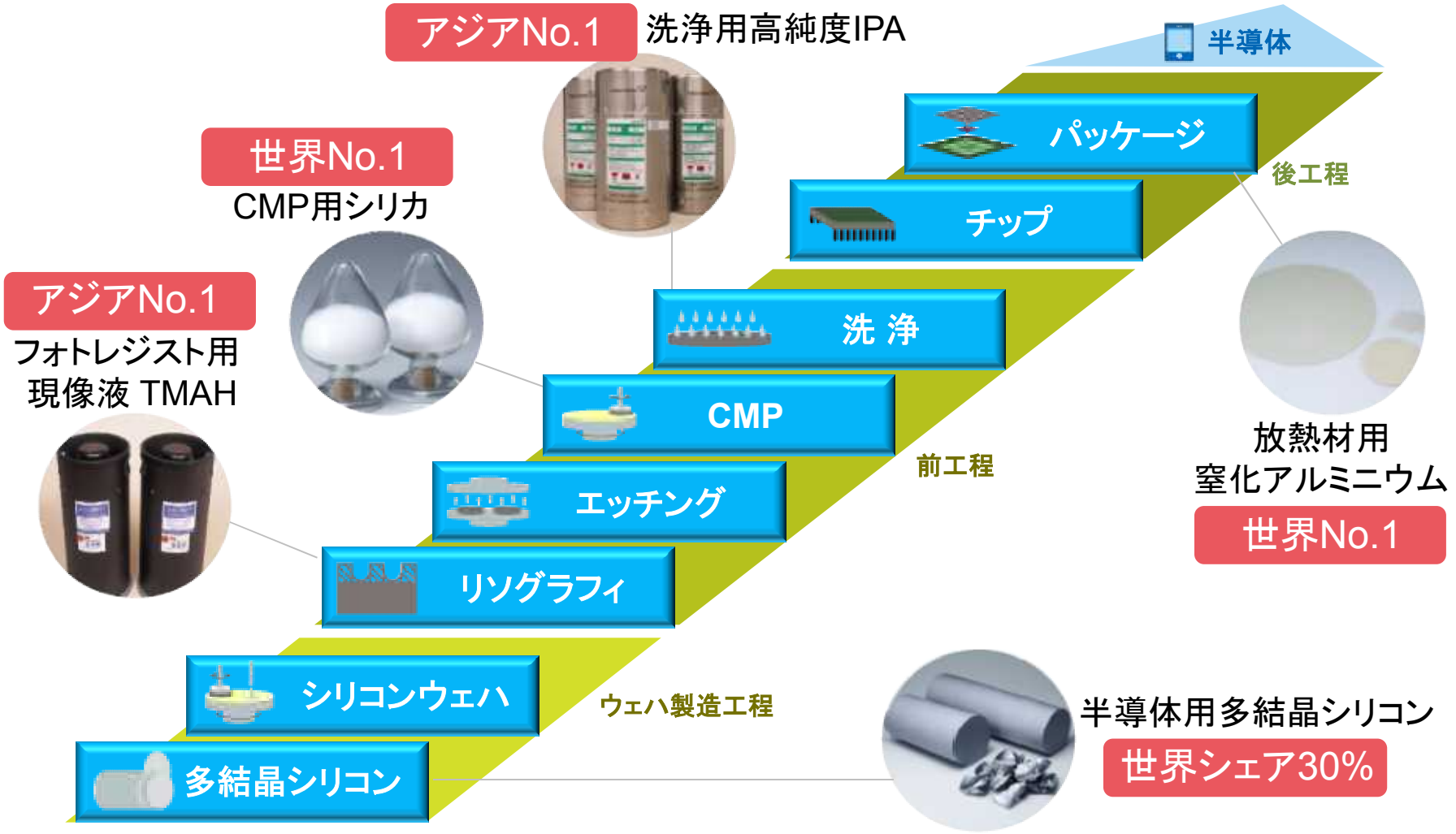
メガネレンズ用
フォトクロミック材料

セメント

国内4位

11. 成長事業の取り組み

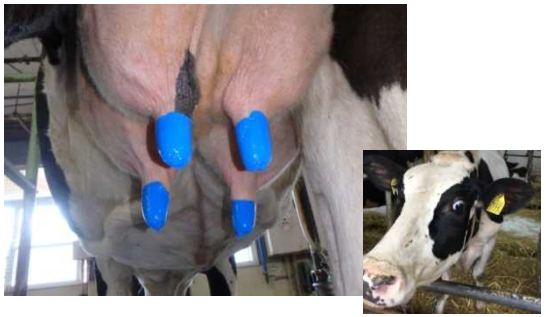
ICT関連製品



11. 成長事業の取り組み

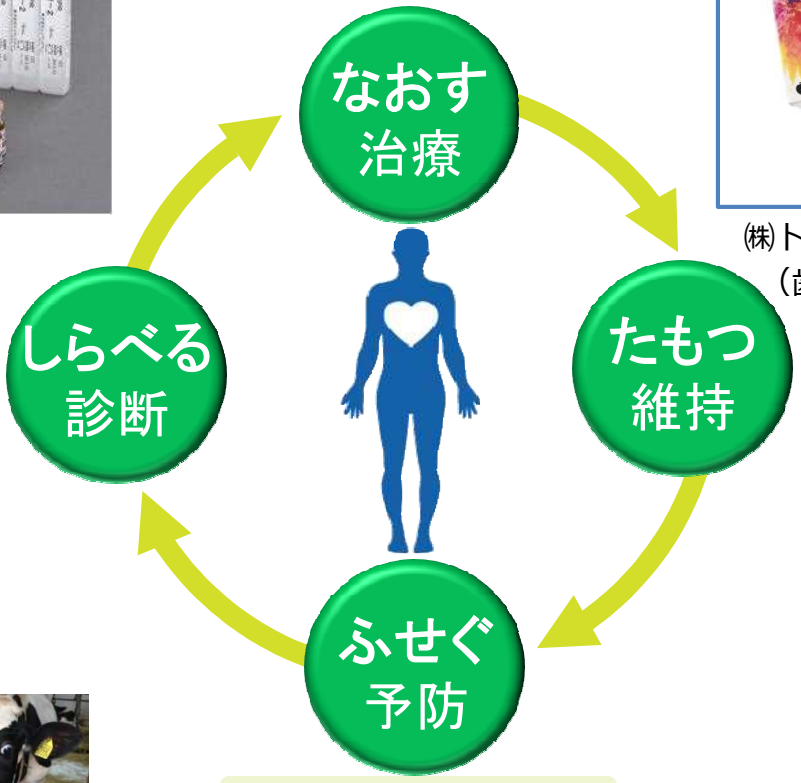
ヘルスケア関連製品

●医療診断システム
●臨床検査試薬
●動物医療周辺材料



●歯科材料
●医薬品原薬・中間体

㈱トクヤマデンタル「オムニクロマ」
（歯科充填用コンポジットレジン）



●フォトクロミック材料
●乳牛の乳頭保護材
●サプリメント

●OPPフィルム（食品包装材）
●微多孔質フィルム（紙おむつ材料）

16

12. CO_2排出量削減の取り組み

- 地球温暖化防止のため、温室効果ガス排出量削減を目指し、エネルギー起源のCO_2排出の削減目標を設定
  ⇒ 2030年度にBAU＊(2013年度基準)比で15%削減
- CO_2排出量削減推進のための組織を立ち上げ
- 以下の課題解決を中心にCO_2排出量削減を推進
  - 新規技術開発
    - CO_2の回収・利活用
  - 再生可能エネルギー導入
    - バイオマス混焼
    - エネルギーミックス
  - 徳山製造所のエネルギー効率の最適化

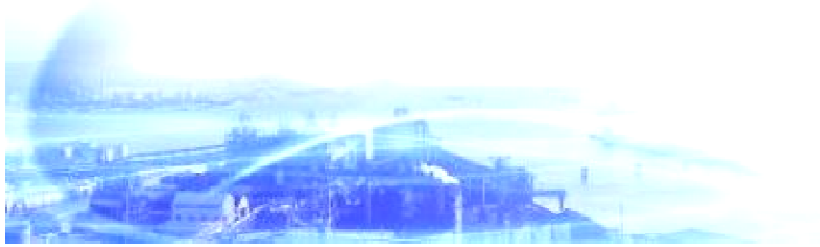
* BAU (Business as Usual)：削減対策をしない場合の排出量

13. 配当について

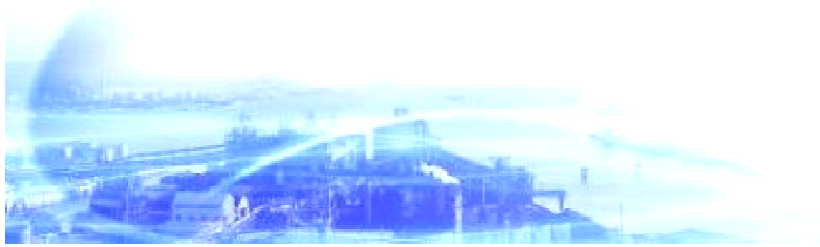
剰余金の配当は、3月末日及び9月末日の最終の株主名簿に記載された株主の方を対象に実施しています。

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
中間配当金（円）	15.0	0.0	0.0	0.0	10.0	25.0	35.0
期末配当金（円）	15.0	0.0	0.0	0.0	20.0	25.0	(35.0)
配当性向（%）	20.4	―	―	―	11.5	10.1	(18.7)

（注１） 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合いたしましたが、金額の比較のため、上表では2013年度の配当金から併合を反映した金額としています。
（注２） 2014～2016年度の配当性向は、当期純損失であるため記載しておりません。
（注３） （）内の数値は、予想値です。
（注４） 2017年期末配当金には100周年記念配10円を含みます。



Chemistry with a heart
TOKUYAMA

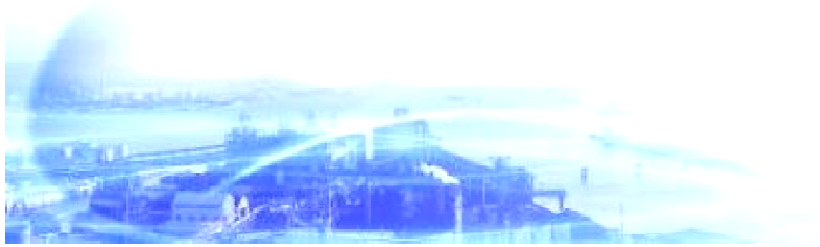


業績予想（2019年度）

連　結

※2019年10月31日公表

売上高	3,220億円	前期比　△1%
営業利益	350億円	前期比　△1%
親会社株主に帰属する当期純利益	260億円	前期比　△24%

売上高営業利益率	10.9 %
1株当たり当期純利益 (EPS)	374.35 **円**

Chemistry with a heart
TOKUYAMA